

各 位

唐津農林事務所東松浦農業振興センター長

## 稲作情報第 1 号 (普通期水稻)

### 1. 気象概要 (アメダス: 唐津地点)

月・半旬	平均気温 °C			最高気温 °C			最低気温 °C			降水量 mm/半旬			日照時間 hr/半旬		
	過去12年 平均気温	今年	差	過去12年 最高気温	今年	差	過去12年 最低気温	今年	差	過去12年 降水量	今年	比	過去12年 日照時間	今年	日照時間 平年差
5-1	17.5	17.5	0.0	22.7	23.4	0.7	12.7	11.9	-0.8	12	10	-3	39.2	34.8	-4.4
5-2	18.2	16.4	-1.8	22.9	21.4	-1.5	13.9	11.9	-2.0	34	116	81	31.9	31.9	0.0
5-3	18.8	18.1	-0.7	23.6	23.7	0.1	14.4	13.8	-0.6	27	8	-19	33.7	38.5	4.8
5-4	19.5	20.4	0.9	24.5	25.0	0.5	15.1	16.9	1.8	24	16	-9	31.4	29.2	-2.2
5-5	20.0	18.8	-1.2	25.1	25.0	-0.1	15.6	14.1	-1.6	14	0	-14	38.6	42.1	3.5
5-6	20.3	22.4	2.0	25.0	26.8	1.8	16.3	19.1	2.8	22	74	52	35.7	19.4	-16.3
6-1	20.9	21.4	0.5	25.5	26.2	0.7	17.3	17.4	0.1	22	15	-7	30.5	26.2	-4.3
6-2	21.4	20.7	-0.7	25.5	25.1	-0.4	18.2	17.6	-0.6	18	27	8	27.3	18.3	-9.0
6-3	22.1	23.0	0.9	25.7	28.0	2.3	19.5	20.1	0.6	38	1	-38	18.3	28.0	9.7
6-4	22.4	23.5	1.1	26.2	30.0	3.7	19.6	19.4	-0.2	57	0	-57	22.2	45.1	22.9
6-5	23.1	23.0	-0.1	26.8	26.9	0.1	20.2	20.5	0.3	54	63	9	23.6	16.7	-6.9

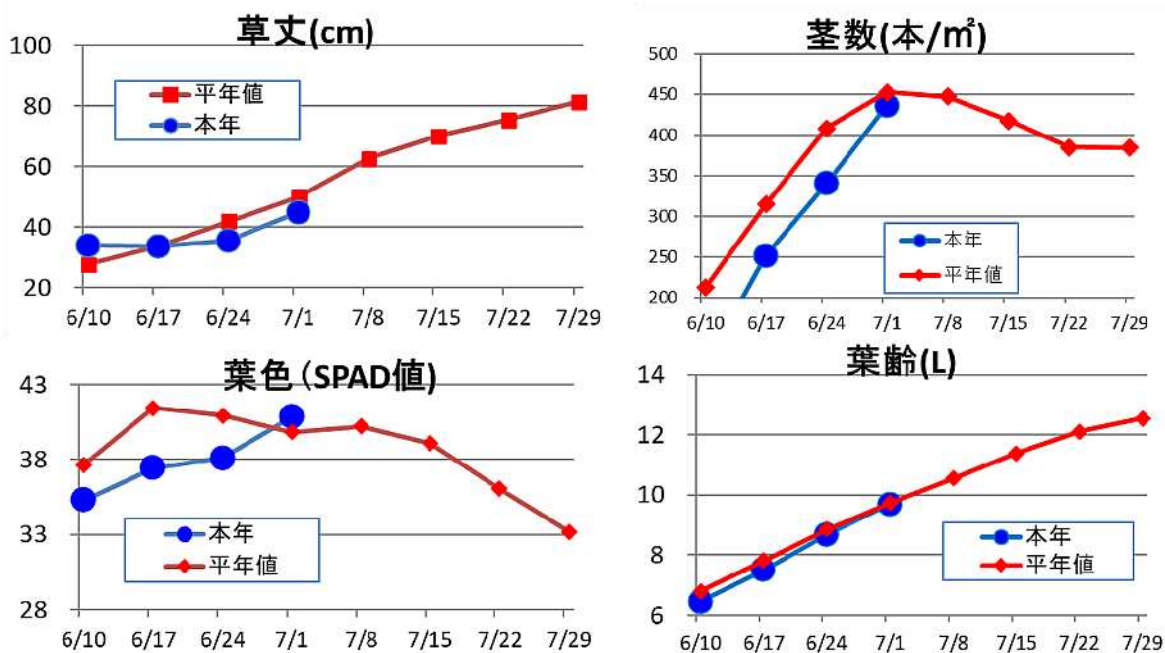
梅雨入りは 5 月 29 日と平年より 6 日早くなった。5 月 2 半旬にまとまった降雨があり、山間地の移植はスムーズに進んだ。5 月 6 半旬から 6 月 2 半旬にかけて曇天が続き、日照時間が短かった。その後 6 月 4 半旬にかけて、晴天が続く日も多く日照時間は長くなったが 6 月 5 半旬以降曇天・雨天が続き、日照時間は短くなった。今後も梅雨前線が停滞することが予想され、曇天・雨天が続く見込みである。

### 2. 生育状況 (調査日: 6 月 27 日)

項目 品種 (設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概要
コシヒカリ 唐津市 厳木 町天川 5/14 移植 標高 650m	本年値	44.9	436	9.7	40.9	・草丈は平年に比べやや高い ・茎数は平年よりやや多い ・出葉は平年よりやや早い ・葉色は平年並み
	平年値	42.7	423	9.0	40.7	
	平年比	105	103	+0.7	0.2	

作況ほの「コシヒカリ」は、5 月 14 日に移植された。5 月 6 半旬から 6 月 2 半旬にかけて曇天が続いたため、徒長気味となり、草丈が高い状態となった。その後 5 月中旬から 6 月初めにかけて天候が回復し好天が続いたことから、分げつの発生も盛んとなり生育は回復し、草丈・茎数ともに平年並みとなった。作況圃では、これまでのところいもち病やウンカなどの病害虫は発生していない。

## ・令和 5 年産天川コシヒカリ生育の推移



### 3. 今後の管理

#### ①栽培管理

- ・唐津市のコシヒカリの移植時期は4月末～5月末であり生育ステージは移植時期で異なる。現在の生育ステージは有効分けつ決定期～最高分けつ期となるため、生育ステージに応じた管理を行う。
- ・5月上旬までに移植された圃場で有効茎が確保されたものは中干しに移行する。中干しは、おおむね草丈 50cm までを目処に実施する（有効茎数 20 本/株程度）。その後は間断灌水に移行する。
- ・5月中旬以降に移植された圃場では分けつを確保し茎を充実させるため浅水管理とする。降雨が連続すると見込まれる場合は水尻を開けて落水管理とする。

#### ②病虫害管理

- ・「いもち病」の病斑が見られる場合は、速やかに防除を行う。ただし、特別栽培認証制度を申請した産地では、農薬成分カウント数に注意する。
- ・本年は、雑草発生が早くから散見される。特に「ホタルイ、オモダカ、ノビエ類」の発生が多い圃場では、中後期除草剤の対応に遅れないようにする。ただし、特裁申請している圃場では農薬成分カウント数に注意する。



【花茎伸長したホタルイ(草丈 20cm)】



【バサグラン粒剤散布後】